

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	前期
科目名	こどもの指導法「造形表現」	授業形態	演習	単位数	1単位
担当教員	渡邊 恵美	実務経験の有無	○		
実務経験教員の経歴	高等学校美術科非常勤講師				
授業のねらい (到達目標)	1. 保育指導法「表現」のねらいと内容等に基づいた保育の基本について理解できる。 2. 乳幼児の表現活動の大切さと発達段階を踏まえた造形的な表現の特徴が理解できる。 3. 乳幼児の造形表現活動の展開と援助のあり方を学び、保育者としての知識と技術が習得できる。				
授業概要	乳幼児の表現活動の大切さと発達過程や造形的な表現の特徴を理解する学習をする。さらに材料・用具、手法をもとに「えがく」「つくる」「造形あそび」などの題材や環境構成、援助のあり方についての知識と製作体験とを関連づけながら学習を深める。				
テキスト	造形表現論(豊岡短期大学)				
授業計画	第1回	幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園 教育・保育要領における「表現」領域及び小学校との連携(「図画工作」の学習指導要領)			
	第2回	造形教育の思想と指導法の推移及びこどもの発達段階における表現の特徴			
	第3回	こどもの発達段階における表現の指導・援助(指導案)と評価			
	第4回	こどもの発達段階における表現の指導・援助(指導案)と評価			
	第5回	教材研究を伴う製作I(えがく)			
	第6回	教材研究を伴う製作I(えがく)			
	第7回	教材研究を伴う製作I(つくる)			
	第8回	教材研究を伴う製作I(つくる)			
	第9回	教材研究を伴う製作Ⅲ(造形あそび)			
	第10回	教材研究を伴う製作Ⅲ(造形あそび)			
	第11回	実践的な指導法(模擬保育等)の学習(えがく・つくる・造形あそび)			
	第12回	実践的な指導法(模擬保育等)の学習(えがく・つくる・造形あそび)			
	第13回	実践的な指導法(模擬保育等)の学習(えがく・つくる・造形あそび)			
	第14回	えがく、つくる、造形あそびの保育展開(指導法)と情報機器及び教材の活用まとめ			
	第15回	えがく、つくる、造形あそびの保育展開(指導法)と情報機器及び教材の活用まとめ			
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末 50% 中間 25% 平常 10% 出欠 15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	後期		
科目名	子ども家庭支援論	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	星 恵美子	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	障害児・者の入所及び通所施設、障害者グループホーム、地域生活支援センター、放課後保護サービス事業等の知的障害児・者支援で、「子ども家庭支援」に携わり、の支援を必要とする当事者と共に、その家族に対するサポートの重要性を実感してきた。その体験を基に、「子ども家庭支援」の支援の意義及び実際の支援における視点について、保育実習指導と関連付けながら学び、実践に役立つ授業とする。						
授業のねらい (到達目標)	1、子育て家庭を取り巻く社会的状況を理解する。2、保育の専門性を活かした子ども家庭支援の現状と課題を理解する。3、子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開を理解する4、特別なニーズを持つ子育て家庭への支援としての関係機関の連携を理解する。						
授業概要	今後、保育や教育の現場には、様々な障害を持つ子どもたちが増えていくことが予想される中、障害の正確な理解と適切な対応は、支援者に不可欠な専門性となっていくことが予想される。この科目では、障害児支援の歴史、合理的配慮を必要とする子どもの保育・教育を支える理念や法律・制度を踏まえ、各障害の症状や特性と支援方法について学ぶ。						
テキスト	随時資料配布						
授業計画	第1回	家族・家庭・世帯					
	第2回	家族と家庭の形態と機能					
	第3回	ライフステージ					
	第4回	社会環境の変化と現代の家庭					
	第5回	現代の家庭と子育てをめぐる問題					
	第6回	要保護家庭の問題					
	第7回	子育て家庭を支援する法・制度					
	第8回	子育て家庭を支援する社会資源					
	第9回	新たな子育て支援制度					
	第10回	子育て家庭支援の体系					
	第11回	保育者による家庭支援の原理					
	第12回	保育所における子育て家庭支援					
	第13回	地域における子育て家庭支援					
	第14回	子どもの家庭福祉の諸相					
	第15回	要保護児童とその家族に対する支援					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施	授業時数の2/3以上の出席	総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度			50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども発達学科	実施学年	2学年	開講期	後期	
科目名	こどもの理解と援助	授業形態	講義	単位数	2単位	
担当教員	阿久津 洋巳	実務経験の有無		×		
実務経験教員の経歴						
授業のねらい (到達目標)	子ども理解と援助について、授業計画の各項目について理解し、それを踏まえて将来の実践にどのように活かしたいか考えることができる					
授業概要	保育実践において、実態に応じた子ども一人一人の心身の発達や学びを把握することの意義について理解する。子どもの体験や学びの過程において、子どもを理解する上での基本的な考え方を理解する。子どもを理解するための具体的な方法を理解する。子どもの理解に基づく保育士の援助や態度の基本について理解する。					
テキスト	保育所保育指針(厚生労働省)、幼保連携型認定こども園教育・保育要領(内閣府・文部科学省・厚生労働省)					
授業計画	第1回	子どもの実態に応じた発達や学びの把握①				
	第2回	子どもの実態に応じた発達や学びの把握②				
	第3回	子どもを理解する視点:子どもの生活や遊び				
	第4回	子どもを理解する視点:保育の人的環境としての保育者と子どもの発達				
	第5回	子どもを理解する視点:子ども相互の関わりと関係づくり				
	第6回	子どもを理解する視点:集団における経験と育ち				
	第7回	子どもを理解する視点:葛藤やつまずき				
	第8回	子どもを理解する視点:保育の環境の理解と構成				
	第9回	子どもを理解する視点:環境の変化や移行				
	第10回	子どもを理解する方法:観察・記録				
	第11回	子どもを理解する方法:省察・評価				
	第12回	子どもを理解する方法:職員間の対話				
	第13回	子どもを理解する方法:保護者との情報の共有				
	第14回	子どもの理解に基づく発達援助①				
	第15回	子どもの理解に基づく発達援助②				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末 50% 中間 25% 平常 10% 出欠 15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	前期									
科目名	こどもの保健	授業形態	講義	単位数	2単位									
担当教員	高橋 百合子	実務経験の有無	×											
実務経験教員の経歴														
授業のねらい (到達目標)	①子どもの発育について理解する ②子どもの疾病とその予防について理解する													
授業概要	保育者として子どもの健康を守り、子どものQOLの向上を目指す活動を行うための基本的なことを学ぶ。また、子どもに多い病気などの乳幼児期の健康を守るために必要な知識を身につける。													
テキスト	こどもの保健													
授業計画	第1回	子どもの保健の意義・健康の概念と健康指標												
	第2回	子どもの身体発育												
	第3回	子どもの生理機能の発達												
	第4回	子どもの運動機能の発達												
	第5回	感染症①感染症とは												
	第6回	感染症②感染症対策												
	第7回	感染症③保育園・幼稚園で問題となる感染症												
	第8回	感染症④保育園・幼稚園で問題となる感染症												
	第9回	予防接種												
	第10回	子どものかかりやすい病気①												
	第11回	子どものかかりやすい病気②												
	第12回	先天性疾患												
	第13回	歯と口の健康												
	第14回	健康に関する現状と課題												
	第15回	こどもの保健まとめ												
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	<table border="1"> <tr> <th>期末</th> <th>中間</th> <th>平常</th> <th>出欠</th> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>25%</td> <td>10%</td> <td>15%</td> </tr> </table>	期末	中間	平常	出欠	50%	25%	10%	15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	
期末	中間	平常	出欠											
50%	25%	10%	15%											

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	前期		
科目名	子どもの食と栄養	授業形態	演習	単位数	2単位		
担当教員	萱場 佳代	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	企業での調乳・離乳食指導、特定保健指導、母親教室、料理教室講師 新潟市 母子保健事業、特定保健指導、学校等での出張授業講師 他						
授業のねらい (到達目標)	子どもの身体の特徴を理解し、小児期に必要な栄養・食生活の重要性と、それぞれの時期に応じた食事の知識を習得し、食育につなげていけるものとする。						
授業概要	基本的な栄養・食生活の知識を学ぶ。 離乳食から幼児期への子どもの発育発達と、それぞれの時期に応じた栄養補給、食事の知識を学ぶ。 食育の重要性を学び、子どもたちへの伝えかたを考える。 実際に調整粉乳、離乳食、幼児食の調理を行い、形態や味を確認する。 乳幼児期における食物アレルギーについて学ぶ。						
テキスト	「こどもの食と栄養」豊岡短期大学						
授業計画	第1回	栄養に関する基礎知識(五大栄養素の体内での働き)					
	第2回	ビタミン・ミネラルの種類・働き・食品					
	第3回	母乳栄養(初乳・長所・短所・母乳不足)					
	第4回	人工栄養(調整粉乳・フォローアップミルク・特殊ミルク)					
	第5回	離乳の定義、離乳食の進め方と注意点					
	第6回	幼児期の栄養・食生活					
	第7回	間食の必要性と与え方					
	第8回	幼児期の栄養・食生活上の問題と対応					
	第9回	乳幼児期の食物アレルギー					
	第10回	食育の必要性(ねらいと内容)					
	第11回	食育の実践					
	第12回	実習(調乳・離乳食の調理)					
	第13回	実習(幼児食の調理)					
	第14回	実習(間食の調理)					
	第15回	まとめ 期末試験					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	前期									
科目名	こどもの指導法「健康」	授業形態	演習	単位数	1単位									
担当教員	高橋 百合子	実務経験の有無	×											
実務経験教員の経歴														
授業のねらい (到達目標)	人間が生きていくためのベースである健康な生活の基盤をどう育てるのかについて理解する													
授業概要	子どもたちが健康で安全な生活を送るために幼稚園・保育所等の幼児教育施設が果たす役割は大きい。子どもたちの心身の発育について理解し、子どもの健康に必要な体験とは何かを学び、保育者の果たす役割について考える。													
テキスト	なし													
授業計画	第1回	子どもとは・健康とは												
	第2回	領域「健康」の意味												
	第3回	子どもの身体の発育・発達①形態的発達												
	第4回	子どもの身体の発育・発達②生理機能の発達												
	第5回	子どもの身体の発育・発達③生理機能の発達												
	第6回	子どもの身体の発育・発達④運動機能の発達												
	第7回	乳幼児期の安全教育とけがの防止①												
	第8回	乳幼児期の安全教育とけがの防止②												
	第9回	乳幼児期の生活習慣の形成①食												
	第10回	乳幼児期の生活習慣の形成②睡眠												
	第11回	乳幼児期の遊びと運動												
	第12回	子どものこころの健康												
	第13回	健康をめぐる現代的課題												
	第14回	健康と保育の活動内容												
	第15回	幼保小連携と保育内容「健康」のまとめ												
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	<table border="1"> <tr> <td>期末</td> <td>中間</td> <td>平常</td> <td>出欠</td> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>25%</td> <td>10%</td> <td>15%</td> </tr> </table>	期末	中間	平常	出欠	50%	25%	10%	15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	
期末	中間	平常	出欠											
50%	25%	10%	15%											

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	後期		
科目名	環境	授業形態	講義	単位数	1単位		
担当教員	板垣 裕	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	幼児教育施設での勤務経験を活かし、実践的な授業を行う。						
授業のねらい (到達目標)	1. 領域「環境」のねらいと内容を理解する。 2. 子どもを取り巻く様々な環境を理解し、関心を持つ。 3. 保育者の役割を常に考え、保育実践力を身につける。						
授業概要	現在の子どもを取り巻く環境の変化について学びながら、保育に必要な基礎専門知識を得る。 子どもの発育・発達における環境とのかかわりの重要性を学びながら、保育の環境や環境構成のあり方について理解する。						
テキスト	新保育ライブラリ 保育の内容・方法を知る 環境						
授業計画	第1回	環境とは何か？ 環境の定義					
	第2回	環境とは何か？ 子どもを取り巻く環境の変化を知る					
	第3回	領域「環境」の理解 ねらいと内容					
	第4回	領域「環境」の理解 環境を通して行う保育					
	第5回	環境の構成 教師の願いを込める					
	第6回	環境の構成 身近な環境の構成					
	第7回	環境の構成 季節や地域の行事					
	第8回	環境の構成 好奇心・探究心を育てる環境					
	第9回	園での実際の環境構成(映像学習)①					
	第10回	園での実際の環境構成(映像学習)②					
	第11回	園での実際の環境構成(映像学習)③					
	第12回	保育者の存在 人的環境の重要性					
	第13回	標識・文字、数量・図形との出会い					
	第14回	ねらいを達成するための環境構成の工夫(校外学習計画)					
	第15回	校外学習					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	前期		
科目名	言語表現	授業形態	演習	単位数	1単位		
担当教員	板垣 裕	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	幼児教育施設での勤務経験を活かし、実践的な授業を行う。						
授業のねらい (到達目標)	1. 保育内容の領域「言葉」のねらい及び内容を理解する。 2. 保育現場における児童文化財の重要性を考え理解し、保育士・幼稚園教諭に求められる専門知識技術・言語表現力を高める。 3. 幼児の発達や学びの過程を理解するとともに、領域「言葉」に関わる具体的な指導場面を想定した模擬保育の実施とその振り返りを通して、保育を実践する力を身に付ける。						
授業概要	自己紹介絵本制作を通して、児童文化財への理解を深めると共に、制作技術の向上を図る。 絵本の読み聞かせを通して、自身の保育観に沿った絵本選びを行い、実践的な技術を習得する。 以上2点を通して、保育観の醸成、自己分析を行う。						
テキスト	ことばと表現力を育む児童文化〈第2版〉 萌文書林						
授業計画	第1回	授業の目的と概要 領域「言葉」の内容の確認					
	第2回	子どもの言葉を育むさまざまな児童文化財 様々な絵本の種類 子どもの発達に合わせた絵本の選び方					
	第3回	ことばの発達と遊び いろいろなことば遊び					
	第4回	図書館での教材研究 領域「言葉」を中心とした絵本の読み聞かせの指導案作成					
	第5回	図書館での教材研究 領域「言葉」を中心とした絵本の読み聞かせの指導案作成					
	第6回	図書館での教材研究 領域「言葉」を中心とした絵本の読み聞かせの指導案作成					
	第7回	絵本の読み聞かせを中心とした模擬保育と振り返り 自己紹介絵本の作成					
	第8回	絵本の読み聞かせを中心とした模擬保育と振り返り 自己紹介絵本の作成					
	第9回	絵本の読み聞かせを中心とした模擬保育と振り返り 自己紹介絵本の作成					
	第10回	絵本の読み聞かせを中心とした模擬保育と振り返り 自己紹介絵本の作成					
	第11回	絵本の読み聞かせを中心とした模擬保育と振り返り 自己紹介絵本の作成					
	第12回	絵本の読み聞かせを中心とした模擬保育と振り返り 自己紹介絵本の作成					
	第13回	絵本の読み聞かせを中心とした模擬保育と振り返り 自己紹介絵本の作成					
	第14回	絵本の読み聞かせを中心とした模擬保育と振り返り 自己紹介絵本の作成					
	第15回	まとめ 児童文化財を生かしたさまざまな保育実践 児童文化財を生かした保育の展開					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	後期		
科目名	乳児保育Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2単位		
担当教員	原田 明子	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	私立乳児園、保育園での勤務経験から、現場で求められる乳児保育担当者の資質・能力が培われるよう実践的指導を行う。						
授業のねらい (到達目標)	1. 3歳未満児の発育・発達過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について理解する。 2. 養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について具体的に理解する。						
授業概要	1. グループワークを通し、3歳未満児の発達やそれに沿った保育者の関わりを知る 2. DVDの事例から、子どもの言動や保育者の関わりや意図を個人、グループ、クラス全体で考察する。 3. 養護が教育の一部であること、すべての経験が学びとなっていることを理論的に考察する。						
テキスト	「乳幼児保育」、保育所保育指針						
授業計画	第1回	乳児保育の基本 乳児の特徴					
	第2回	養護と教育の一体化					
	第3回	幼児期の終わりまでに育って欲しい姿と乳児保育					
	第4回	乳児の発達① グループワーク					
	第5回	乳児の発達② グループワーク					
	第6回	乳児の発達③ グループワーク					
	第7回	乳児の発達④ グループワーク発表					
	第8回	保育者の関わりと援助① DVDの事例から					
	第9回	保育者の関わりと援助② DVDの事例から					
	第10回	保育者の関わりと援助③ DVDの事例から					
	第11回	環境による保育① グループワーク					
	第12回	環境による保育② グループワーク					
	第13回	環境による保育③ グループワーク					
	第14回	単位認定試験					
	第15回	期末試験					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	後期		
科目名	こどもの健康と安全	授業形態	演習	単位数	1単位		
担当教員	高橋 百合子	実務経験の有無		×			
実務経験教員の経歴							
授業のねらい (到達目標)	①保育における衛生管理について理解する ②保育における事故防止及び安全対策・危機管理・災害対策について理解する ③子どもの体調不良等に対する適切な対応について理解する ④健康状態の評価について理解する						
授業概要	子どもの健康状態をどう評価するのかを学び、子どもの姿を正しく捉えることや、保育における衛生管理・事故防止及び安全対策・危機管理・災害対策を踏まえた保健計画や活動内容について知識を深める。また、子どもの体調不良等に対する適切な対応について、実践できる力を養う。						
テキスト	なし						
授業計画	第1回	保育における保健活動の計画と評価					
	第2回	健康状態の評価と健康観察・健康診断					
	第3回	身体計測と発育評価					
	第4回	保育における衛生管理					
	第5回	保育における事故防止・安全対策・災害対策					
	第6回	子どもの体調不良時の対応①発熱・咳・けいれん					
	第7回	子どもの体調不良時の対応②嘔吐・下痢・発疹					
	第8回	子どもの体調不良時の対応③腹痛・頭痛					
	第9回	応急処置①					
	第10回	応急処置②					
	第11回	応急処置③					
	第12回	アレルギー疾患①概要					
	第13回	アレルギー疾患②アトピー性皮膚炎と気管支喘息					
	第14回	アレルギー疾患③食物アレルギー					
	第15回	地域保健					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度			50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	後期									
科目名	障害児保育	授業形態	演習	単位数	2単位									
担当教員	佐藤 高志	実務経験の有無		○										
実務経験教員の経歴	小学校教諭、養護学校教諭、校長、盲学校校長として勤務													
授業のねらい (到達目標)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 障害児保育を支える理念や歴史の変遷について学び、障害児及びその保育について理解する。 2. 個々の特性や心身の発達等に応じた援助や配慮について理解する。 3. 障害児その他の特別な配慮を要する子どもの保育における計画の作成や援助の具体的な方法について理解する。 4. 障害児その他の特別な配慮を要する子どもの家庭への支援や関係機関との連携・協働について理解する。 5. 障害児その他の特別な配慮を要する子どもの保育に関する現状と課題について理解する。 													
授業概要	個々の障害特性を理解し、障害児だけでなく、統合保育の視点で、保育者として必要な力を身に付ける。													
テキスト	障害児保育(豊岡短期大学)													
授業計画	第1回	障害の概念と障害児保育の歴史の変遷												
	第2回	障害のある子どもとの統合保育と地域社会への参加												
	第3回	差別解消と合理的配慮												
	第4回	身体障害児の理解と支援												
	第5回	知的、発達障害児の理解と支援												
	第6回	その他の障害児の理解と支援												
	第7回	支援体制の構築(職員間、家族、地域社会、子ども同士)												
	第8回	障害児のコミュニケーション												
	第9回	障害児と遊ぶ1												
	第10回	障害児と遊ぶ2												
	第11回	障害児保育の健康と安全												
	第12回	統合保育の活動												
	第13回	支援体制づくりのために												
	第14回	障害児の支援計画												
	第15回	障害児保育の現状と課題												
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	<table border="1"> <tr> <td>期末</td> <td>中間</td> <td>平常</td> <td>出欠</td> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>25%</td> <td>10%</td> <td>15%</td> </tr> </table>	期末	中間	平常	出欠	50%	25%	10%	15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	
期末	中間	平常	出欠											
50%	25%	10%	15%											

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	前期	
科目名	社会的養護Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2単位	
担当教員	渡邊 みゆき	実務経験の有無		○		
実務経験教員の経歴	児童養護施設での現場経験から、施設で生活する子どもたちの実際の姿や支援内容について実践的な指導を行う。					
授業のねらい (到達目標)	「社会的養護Ⅰ」で学んだ社会的養護の基礎的内容について具体的に理解する。 施設養護及び家庭養護の実際について理解する。 社会的養護における虐待防止と家庭支援について理解する。					
授業概要	スクーリングによる体験的な授業で、主としてコミュニケーション力、リーダーシップなど必要な技術とネットワーク運営のための技術を身につける。					
テキスト						
授業計画	第1回	オリエンテーション				
	第2回	子どもの最善の利益、意見表明権、子どもの権利を守る仕組み(演習)				
	第3回	資質と倫理(演習)				
	第4回	施設養護の体系				
	第5回	児童養護施設(演習)				
	第6回	乳児院(演習)				
	第7回	母子生活支援施設(演習)				
	第8回	障害児入所施設(演習)				
	第9回	児童自立支援施設(演習)				
	第10回	児童心理治療施設(演習)				
	第11回	家庭養護・家庭的養護の体系				
	第12回	里親(演習)				
	第13回	地域小規模児童養護施設(演習)				
	第14回	社会的養護の現状と課題				
	第15回	まとめ				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末 50% 中間 25% 平常 10% 出欠 15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	後期		
科目名	子育て支援	授業形態	演習	単位数	1単位		
担当教員	渡邊 みゆき	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	児童養護施設での現場経験から、施設で生活する子どもたちの実際の姿や支援内容について実践的な指導を行う。						
授業のねらい (到達目標)	保育士の行う保育の専門性を背景とした保護者に対する相談・助言・情報提供等の支援(保育相談支援)について、その特性と展開を具体的に理解し身につける。 子育て支援の意義や役割について理解し、保育者としての子育て支援の基本姿勢について関心を持ち、子育て支援の意義や役割、基本姿勢など支援の実際を学ぶ。						
授業概要	保育士の行う子育て支援について、様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を、実践事例等を通して具体的に理解するとともに、保育士の行う子育て支援の展開を学ぶ。						
テキスト							
授業計画	第1回	オリエンテーション					
	第2回	保育の専門性と子育て支援					
	第3回	保護者に対する子育て支援					
	第4回	ソーシャルワーク理論					
	第5回	保育士の行う子育て支援(方法)					
	第6回	保育士の行う子育て支援(技術)					
	第7回	共感的理解、傾聴					
	第8回	非言語コミュニケーション					
	第9回	自己覚知(演習)					
	第10回	価値観(演習)					
	第11回	記録(演習)					
	第12回	社会資源(演習)					
	第13回	事例分析①					
	第14回	事例分析②					
	第15回	事例分析③					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		50%		25%	10%	15%	
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	通年
科目名	保育実習 I (保育)	授業形態	実習	単位数	4 単位
担当教員	実習専任教員	実務経験の有無		○	
実務経験教員の経歴	保育園・幼稚園・小学校等の該当実習施設での勤務経験				
授業のねらい (到達目標)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習生の姿勢・態度 <ul style="list-style-type: none"> ・保育実習に関するマナーを知る。 ・安全に配慮できる。 ・子どもの生活や遊びに関心を高める。 2. 知識及び技能 <ul style="list-style-type: none"> ・ディリープログラムを理解する(子どもの一日と保育者の一日を理解する) ・子どもの発達過程を理解し、保育環境や援助の在り方を考えてみる。 ・簡単な保育実技を身につける。 3. 実習日誌 <ul style="list-style-type: none"> ・日誌の意義・記入上の諸注意について理解をする。 ・記録の取り方・記入の仕方を学ぶ。 4. 指導案 <ul style="list-style-type: none"> ・指導案とは何かを知る。立案の仕方を学ぶ。 5. 手続きと提出物 <ul style="list-style-type: none"> ・期日を守り、自主的に進められる。 				
授業概要	<p>実際に保育所の生活を体験する中で、保育所の機能、保育所での乳幼児の生活とその流れ、保育士の職務と役割、「養護」と「教育」を一体として行う保育所保育の基本等について理解できるように指導する。</p>				
単位認定 ・ 評価方法	<p>実習園による評価(出勤状況・実習態度・職務理解・施設理解・幼児理解等の評価基準に基づき)及び実習日誌を総合して評価をする。</p> <p>上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する</p>				

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	通年
科目名	保育実習 I (施設)	授業形態	実習	単位数	4 単位
担当教員	実習専任教員	実務経験の有無		○	
実務経験教員の経歴	保育園・幼稚園・小学校等の該当実習施設での勤務経験				
授業のねらい (到達目標)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習生の姿勢・態度 <ul style="list-style-type: none"> ・人権を理解し尊重する態度を身につける。 ・施設実習を通して自己の成長を目指す。 ・観察することの意味を理解して実践する。 2. 知識及び技能 <ul style="list-style-type: none"> ・信頼関係を築くための技能を身につける。 ・施設の役割と社会的な位置づけを知る。 ・施設の現状(生活・職員の役割)を理解する。 3. 実習日誌 <ul style="list-style-type: none"> ・実習日誌の意義・記入上の諸注意について理解する。 ・記録の取り方・記入の仕方を学ぶ。 4. 指導案 <ul style="list-style-type: none"> ・部分実習の具体例を学ぶ。 5. 手続きと提出物 <ul style="list-style-type: none"> ・期日を守り、自主的に進められる。 				
授業概要	施設での生活や療育を実際に体験する中で、施設の機能や施設での生活と流れを知り、子ども・利用者を理解し、援助の仕方や方法、施設保育士の職務等について理解できるよう指導する。				
単位認定 ・ 評価方法	<p>実習園による評価(出勤状況・実習態度・職務理解・施設理解・幼児理解等の評価基準に基づき及び実習日誌を総合して評価をする。</p> <p>上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する</p>				

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	後期		
科目名	保育実践演習	授業形態	演習	単位数	2単位		
担当教員	板垣 裕	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	幼児教育施設での勤務経験を活かし、実践的な授業を行う。						
授業のねらい (到達目標)	1. これまで修得した保育の専門知識の振り返りによって保育の専門的基礎力の定着を図る。 2. 専門的知識技能の実践への応用、課題解決能力を高める。						
授業概要	現在の保育実践上の課題、子どもや子育てに関わる環境上の諸問題を自ら発見し、その改善に向けての方策を考える。 問題発見能力、課題解決能力、実践への積極的態度を養うため、現在の保育問題(少子化、保育制度、子育て支援、幼小連携等)について調べ、身近な具体的課題を設定し、テーマ毎に研究、グループ討議、研究発表を行う。						
テキスト	「保育・教職実践演習」(豊岡短期大学)						
授業計画	第1回	保育者の専門性とは何か					
	第2回	日本における保育実践上の課題について① 児童福祉行政における問題点					
	第3回	日本における保育実践上の課題について② 児童虐待					
	第4回	日本における保育実践上の課題について③ 多文化保育					
	第5回	日本における保育実践上の課題について① 統合保育					
	第6回	日本における保育実践上の課題について① 児童虐待					
	第7回	グループ討議① 保育における地域との連携について					
	第8回	グループ討議② 現代の保護者の子育て意識と保育施設、保育者の役割について					
	第9回	グループ討議③ 都市化現象が子どもの生活と発達に及ぼす影響について					
	第10回	グループ討議④ 保護者支援の方法について					
	第11回	グループ討議まとめ 模擬授業①					
	第12回	グループ討議まとめ 模擬授業②					
	第13回	グループ討議まとめ 模擬授業③					
	第14回	子どもの遊びを豊かにする環境構成、材料、保育者の関わりについて					
	第15回	まとめ 保育者に求められる質とは何か					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	前期		
科目名	幼児体育Ⅱ	授業形態	演習	単位数	1単位		
担当教員	山田 すみ江	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	保育士、幼稚園教諭、母親学級講師、スポーツインストラクター経験を生かし、現場で求められる保育者の資質に基づいて実践的な指導を行う。						
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達過程と運動遊びの関係を理解する。 ・運動遊びの種類及び、さまざまな局面で遊びが子どもの成長・発達(社会性・感情を含む)に与える影響を理解し、具体的な援助方法を取得する。 ・子どもが安全に楽しく運動遊びに取り組むための環境づくりについて理解する。 						
授業概要	グループ毎に、発達過程に応じた運動遊びを考え発表することで、運動遊びと発達の関係の理解を深める。また、子どもたちが主体的に楽しく、安全に遊びを展開したり、深めたりする援助方法を学ぶ。						
テキスト	保育所保育指針解説・幼稚園教育要領解説・認定こども園教育・保育要領解説						
授業計画	第1回	自然を取り入れた遊び(水遊び・雪遊び)や戸外や森での遊びについて(講義)					
	第2回	固定遊具を使った遊び1(すべり台・ジャングルジム・上り棒等)					
	第3回	固定遊具を使った遊び2(鉄棒・ブランコ等)					
	第4回	ボールを使った遊び1(小さいボール・やわらかいボール・大量のボール等)					
	第5回	ボールを使った遊び2(大きいボール・さまざまなボール等)					
	第6回	身近な遊具を使った遊び1(縄、フープ、輪等)					
	第7回	身近な遊具を使った遊び2(新聞紙、タオル、ハンカチ等)					
	第8回	大型遊具を使った遊び1(跳び箱、マット、平均台等)					
	第9回	大型遊具を使った遊び2(複数の遊具の組み合わせによる運動、ゲームボックス、巧技台等)					
	第10回	サーキット遊び(遊具を組み合わせたサーキット遊び)					
	第11回	じゃんけん遊び(遊具を使用しないじゃんけん遊び・遊具を使用したじゃんけん遊び)					
	第12回	鬼ごっこ(氷鬼、助鬼、色鬼、手つなぎ鬼、かげふみ鬼、ドロケイ等)					
	第13回	身体表現によるわらべ歌遊び(かごめかごめ、はないちもんめ、とうりゃんせ、あぶくたつた等)					
	第14回	身体表現による伝承遊び1(ケンケンパー、馬跳び、缶けり等)					
	第15回	身体表現による伝承遊び2(独楽まわし、お手玉、けん玉、おはじき等)					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
			50%	25%	10%	15%	
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	前期		
科目名	リトミックⅡ	授業形態	演習	単位数	1単位		
担当教員	小見 英晴	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	幼稚園教諭7年 リトミック指導16年						
授業のねらい (到達目標)	「幼稚園・保育園のためのリトミック2級指導資格」を取得することをねらいとする。						
授業概要	「幼稚園・保育園のための2級指導資格」を取得することをねらいとし、そのためのリズム、ティーチング、リズムの演奏法を修得する。						
テキスト	「幼稚園、保育園のためのリトミック 3歳児用」 「幼稚園、保育園のための4歳児用」 「幼稚園、保育園のためのリトミック 5歳児用」						
授業計画	第1回	リズム ティーチング					
	第2回	リズムの演奏法 理論					
	第3回	4歳児指導法-1学期 4歳児指導法-2学期					
	第4回	楽しいリトミックの経験 リズムカノン3拍子					
	第5回	リズムフレーズ2・3拍子 リズムの演奏法(4歳児指導法-1～2学期)					
	第6回	4歳児指導法-3学期 5歳児指導法-1学期					
	第7回	楽しいリトミックの経験 リズムカノン3・4拍子					
	第8回	複リズム(Ostinatoター) リズムの演奏法(4歳児指導法-3学期)					
	第9回	リズムの演奏法(5歳児指導法-1学期) 5歳児指導法-2学期					
	第10回	5歳児指導法-3学期 楽しいリトミックの経験					
	第11回	リズムカノン3・4拍子 複リズム(Ostinatoター)					
	第12回	リズムの演奏法(5歳児指導法-2～3学期) 楽しいリトミックの経験					
	第13回	リズムカノン3・4拍子 複リズム(Ostinatoター)					
	第14回	リズムカノン3・4拍子 複リズム(Ostinatoター) リトミックの理論とダルクローズについて					
	第15回	1級 資格認定試験					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	後期		
科目名	リトミックⅢ	授業形態	演習	単位数	1単位		
担当教員	小見 英晴	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	幼稚園教諭7年 リトミック指導16年						
授業のねらい (到達目標)	年齢別のリトミック指導法をティーチングを通して理解する。 簡単なリトミック遊びを身に付け実習や就職してからできるよう実践力をつける。						
授業概要	保育園において、指導者が園児に指導している様子を1歳児～5歳児まで見学し、年齢別指導法を学習する。 いろいろなリトミックの手法を実際に動きながら、ねらいも含めて学習し、就職してから実践できるようにリトミックの楽しさを体験する。						
テキスト	リズム&ゲームにどっぷり/世界の歌を遊ぶリトミック・ゲーム67選 子どものためのリトミックde発表会/アクション&ビートでつくる音楽鑑賞の授業						
授業計画	第1回	新潟えきなか保育園リトミック指導見学					
	第2回	新潟えきなか保育園リトミック指導見学					
	第3回	からだのなかの音楽 ビートにのる					
	第4回	拍子を感じる フレーズ・呼吸・空間					
	第5回	ロープdeゲーム～イメージあそび～ 対話を楽しもう～即興演奏～					
	第6回	歌&楽器deゲーム 音楽と動き					
	第7回	自然な動きを用いた音楽ゲーム					
	第8回	新潟えきなか保育園リトミック指導					
	第9回	新潟えきなか保育園リトミック指導					
	第10回	音楽の「かたち」を体験 音楽の「つながり」を体験					
	第11回	ボディー・パーカッション 旋律や動きの体験					
	第12回	いろいろなリズム・ゲーム リズムの変化を楽しむ					
	第13回	旋律・フレーズ・形式・和音の変化を味わう 創造的なうごきを楽しむ					
	第14回	リトミックと発表会 幼児のリトミック発表会					
	第15回	さまざまなリトミック発表会					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	通年(前期)		
科目名	音楽表現Ⅲ	授業形態	演習	単位数	2単位		
担当教員	川内菜央・寺内めぐみ・市嶋融介	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	各講師それぞれが、音楽教室・自宅でのピアノ指導歴数十年、またソロの演奏活動、声楽(他楽器)の伴奏等の経験より、初心者からレベルの高い学生まで幅広い指導を行うことができ、「音楽による表現」へのアプローチ、コードによる伴奏付け等のアドバイスをを行っている。						
授業のねらい(到達目標)	目を同運つ、途中で止まる、弾き直すなどのない演奏をする。 楽曲のテンポを正しくとり、音楽の流れを中断しないようにする。 抑揚のある表情豊かな演奏を心がけたとえ練習曲であっても美しい音楽作品になるように心がける						
授業概要	音楽表現Ⅰ、Ⅱで身に付けた演奏技術を更に向上させつつ、保育実習や幼稚園での教育実習に向けて実践的な取り組みを行う。						
テキスト	「こどもと音楽表現」「ブルクミュラー25の練習曲」「保育の四季 幼児の歌110曲集」						
授業計画	第1回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。					
	第2回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。					
	第3回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。					
	第4回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。					
	第5回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。					
	第6回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。					
	第7回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。					
	第8回	中間試験					
	第9回	期末試験課題(ソルフェージュ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。					
	第10回	期末試験課題(ソルフェージュ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。					
	第11回	期末試験課題(ソルフェージュ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。					
	第12回	期末試験課題(ソルフェージュ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。					
	第13回	期末試験課題(ソルフェージュ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。					
	第14回	期末試験課題(ソルフェージュ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。					
	第15回	期末試験課題(ソルフェージュ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。					
単位認定・評価方法	期末試験の実施	授業時数の2/3以上の出席	総合評価算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度			50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	通年(後期)	
科目名	音楽表現Ⅳ	授業形態	演習	単位数	2単位	
担当教員	石川美穂・川内菜央・寺内めぐみ・市嶋融介	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	各講師それぞれが、音楽教室・自宅でのピアノ指導歴数十年、またソロの演奏活動、声楽(他楽器)の伴奏等の経験より、初心者からレベルの高い学生まで幅広い指導を行うことができ、「音楽による表現」へのアプローチ、コードによる伴奏付け等のアドバイスを行っている。					
授業のねらい(到達目標)	目を同運つ、途中で止まる、弾き直すなどのない演奏をする。 楽曲のテンポを正しくとり、音楽の流れを中断しないようにする。 抑揚のある表情豊かな演奏を心がけたとえ練習曲であっても美しい音楽作品になるように心がける					
授業概要	音楽表現Ⅰ、Ⅱで身に付けた演奏技術を更に向上させつつ、保育実習や幼稚園での教育実習に向けて実践的な取り組みを行う。					
テキスト	「こどもと音楽表現」「ブルクミュラー25の練習曲」「保育の四季 幼児の歌110曲集」					
授業計画	第1回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第2回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第3回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第4回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第5回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第6回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第7回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第8回	中間試験				
	第9回	期末試験課題(ソルフェージュ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第10回	期末試験課題(ソルフェージュ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第11回	期末試験課題(ソルフェージュ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第12回	期末試験課題(ソルフェージュ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第13回	期末試験課題(ソルフェージュ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第14回	期末試験課題(ソルフェージュ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第15回	期末試験課題(ソルフェージュ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
単位認定・評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席	総合評価算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	通年
科目名	保育実習Ⅱ	授業形態	実習	単位数	2単位
担当教員	実習専任教員	実務経験の有無		○	
実務経験教員の経歴	保育園・幼稚園・小学校等の該当実習施設での勤務経験				
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ●実習生の姿勢態度 <ul style="list-style-type: none"> ・園や施設の方針を理解した上で適切に行動する。 ・目標を明確にし、向上心を持ち、実践的に学びを積むことができる ●知識、技能 <ul style="list-style-type: none"> ・保育内容に合った教材準備や環境構成ができる(部分実習及び責任実習準備の充実) ・生活・遊びを促すための援助(かかわり)ができる ●実習記録 <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児とのかかわりから保育士の意図を感じ取り学びや気づきを書くことができる ・実習生のかかわりを詳細に記録し、省察することができる。 ・子どもの姿を場面で捉え、それを「乳幼児理解」につなげることができる。 ●指導案 <ul style="list-style-type: none"> ・指導案を書く意味が分かり、指導案を実践につなげることができる。(部分、責任) ●提出物 <ul style="list-style-type: none"> ・約束期日を守り、計画的にすすめる。 				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもとのかかわりを深めながら観察し、保育理念や保育の課程をおさえ、保育士の職務を理解できるようにする ●授業等で得た知識や技能を最大限に活かし総合的な実践ができるようにする。 				
単位認定 ・ 評価方法	<p>実習園による評価(出勤状況・実習態度・職務理解・施設理解・幼児理解等の評価基準に基づき及び実習日誌を総合して評価をする。</p> <p>上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する</p>				

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	通年
科目名	保育実習Ⅲ	授業形態	実習	単位数	2単位
担当教員	実習専任教員	実務経験の有無		○	
実務経験教員の経歴	保育園・幼稚園・小学校等の該当実習施設での勤務経験				
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ●実習生の姿勢態度 <ul style="list-style-type: none"> ・施設の方針を理解の上、保育者とこども・利用者とのかかわり方を学び、適切に行動する ・保育実習の経験を活かし主体的に動く。 ●知識、技能 <ul style="list-style-type: none"> ・信頼関係を気づくための技術を身につける ・施設の役割と社会的な位置づけを知る ・施設の現状(生活や職員の役割)を理解する ●実習記録 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもや利用者とのかかわりから保育士の意図を感じ取り「学び」や「気づき」を書くことができる ・「個」と「集団」それぞれの姿を記録できる ・実習生のかかわりを詳細に記録し、省察することができる。 ●指導案 <ul style="list-style-type: none"> ・指導案を書く意味が分かり、指導案を実践につなげることができる。 ●提出物 <ul style="list-style-type: none"> ・約束期日を守り、計画的にすすめる。 				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ●社会福祉施設における実習を通して施設におけるこども・利用者の生活をりかいするとともに、様々な職種の連携について知り、保育者士として必要な支援技術の向上を目指し、指導する。 ●授業等で得た知識や技能を最大限に活かし総合的な実践ができるようにする。 				
単位認定 ・ 評価方法	<p>実習園による評価(出勤状況・実習態度・職務理解・施設理解・幼児理解等の評価基準に基づき及び実習日誌を総合して評価をする。</p> <p>上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する</p>				

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	通年(前期)
科目名	保育実習指導ⅡⅢ	授業形態	演習	単位数	1単位
担当教員	笠井多佳子	実務経験の有無	○		
実務経験教員の経歴	公立園での勤務経験から現場に求められる保育者像について実践的な指導を行う。				
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・実習に向けての基本的な心構えを理解したり、施設について理解する。 ・日誌の書き方、指導案の立て方を確認して自分なりに立てる。 ・実習の振り返りをして課題や反省点をみつけ次に繋げる。 ・見通しをもち場面に対応して動く力や子ども達の前で演じる(伝える)力を身につける。 				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・実習に向け、マニュアルやファイル等を使い基本的な事を確認する。 ・振り返りを行い、反省 課題を見つけながら次の実習に繋がるようにする。 ・部分実習指導案、実習日誌など必要な事を個々に合わせて進める。 				
テキスト	外部実習マニュアル・パーフェクトガイド(施設実習、保育実習・幼稚園こども園実習)・前年度配布プリント等				
授業計画	第1回	保育実習Ⅰ(保育園)の振り返りから次の実習の課題やめあてを探る			
	第2回	実習のめあてを決めて文章化する。オリエンテーション準備			
	第3回	実習記録や指導案について確認する。オリエンテーション準備			
	第4回	施設実習準備①			
	第5回	施設実習準備②			
	第6回	施設実習準備③			
	第7回	施設実習準備④			
	第8回	施設実習の振り返りから教育実習への課題に繋げる			
	第9回	教育実習準備(模擬保育準備) 教育実習のファイルについて			
	第10回	教育実習準備①			
	第11回	教育実習準備②			
	第12回	教育実習準備③			
	第13回	教育実習準備④			
	第14回	教育実習準備⑤			
	第15回	教育実習準備⑥			
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度	総合評価 算出基準	期末 50% 中間 25% 平常 10% 出欠 15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	通年(後期)
科目名	保育実習指導ⅡⅢ	授業形態	演習	単位数	1単位
担当教員	笠井多佳子	実務経験の有無	○		
実務経験教員の経歴	公立園での勤務経験から現場に求められる保育者像について実践的な指導を行う。				
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・実習に向けての基本的な心構えを理解したり、施設について理解する。 ・日誌の書き方、指導案の立て方を確認して自分なりに立てる。 ・実習の振り返りをして課題や反省点をみつけ次に繋げる。 ・見通しをもち場面に対応して動く力や子ども達の前で演じる(伝える)力を身につける。 				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・実習に向け、マニュアルやファイル等を使い基本的な事を確認する。 ・振り返りを行い、反省 課題を見つけながら次の実習に繋がるようにする。 ・部分実習指導案、実習日誌など必要な事を個々に合わせて進める。 				
テキスト	外部実習マニュアル・パーフェクトガイド(施設実習、保育実習・幼稚園こども園実習)・前年度配布プリント等				
授業計画	第1回	教育実習や施設実習の経験を踏まえ、選択実習の準備に繋げる。			
	第2回	実習のめあてを決めて文章化する。オリエンテーション準備			
	第3回	実習記録や指導案について確認する。オリエンテーション準備			
	第4回	実習記録や指導案について確認する。環境構成のとらえ方			
	第5回	実習記録や指導案について確認する。考察について確認する			
	第6回	選択実習準備①			
	第7回	選択実習準備②			
	第8回	選択実習準備③			
	第9回	選択実習準備④			
	第10回	実習の振り返りをする			
	第11回	諸帳簿の記入について①			
	第12回	諸帳簿の記入について②			
	第13回	諸帳簿の記入について③			
	第14回	諸帳簿の記入について④			
	第15回	諸帳簿の記入について⑤			
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価: 課題提出物の状況・確認テスト・授業態度	総合評価 算出基準	期末 50% 中間 25% 平常 10% 出欠 15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	通年									
科目名	R・G・S	授業形態	講義	単位数	1単位									
担当教員	本田 拓也	実務経験の有無	×											
実務経験教員の経歴														
授業のねらい (到達目標)	次年度に控える就職活動に向けて、就活スキルやマナーを身につける。													
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自らの生き立ちを振り返りながら「自己分析」をする。 ・ 自身の進路に対する希望を明確にし、「園研究」をする。 ・ 「履歴書」「添え状」等の書き方を学ぶ。 ・ 面接の場にふさわしいマナーや立居振舞を学び、面接練習をおこなう。 													
テキスト														
授業計画	第1回	前年度の就職状況の説明												
	第2回	就職活動のルール 前期のスケジュール確認												
	第3回	求人票の見方① 課題 労働法												
	第4回	求人票の見方② 課題 労働法												
	第5回	就職活動の書類準備												
	第6回	就職活動の書類準備												
	第7回	園研究①												
	第8回	園研究②												
	第9回	面接立居振舞①												
	第10回	面接立居振舞②												
	第11回	面接とは												
	第12回	面接準備①												
	第13回	面接準備②												
	第14回	模擬面接①												
	第15回	模擬面接②												
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価: 課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価算出基準	<table border="1"> <tr> <td>期末</td> <td>中間</td> <td>平常</td> <td>出欠</td> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>25%</td> <td>10%</td> <td>15%</td> </tr> </table>	期末	中間	平常	出欠	50%	25%	10%	15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	
期末	中間	平常	出欠											
50%	25%	10%	15%											

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	1学年	開講期	前期		
科目名	情報処理Ⅱ	授業形態	演習	単位数	1単位		
担当教員	長谷川 直子	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	民間企業のパソコン部門でのインストラクター業務、また、人材派遣会社の研修部門でのパソコン研修指導およびパソコンヘルプデスクを担当。初心者から上級者まで幅広い実践的な技術指導を行う。ヘルプデスクでは、派遣社員のパソコン実務に関する質疑応答を電話によりリアルタイムで行う。						
授業のねらい (到達目標)	幼稚園や保育園などの教育機関において、実際に実務で必要となるWordの活用方法を習得し技術向上を図る。						
授業概要	1年次で学習した知識を元に、表作成とグラフィックスを含む文書を新規に作成する。さらに、それを元に「おたより」の作成を行う。題材は実際に幼稚園や保育園で作成したものをを使い演習を行う。						
テキスト	Word2016セミナーテキスト基礎						
授業計画	第1回	本演習のガイダンス、ネットワーク接続、プリンタ設定 授業データインストール					
	第2回	新規文書の作成、文書の編集1					
	第3回	文書の編集2					
	第4回	文書の編集3					
	第5回	表作成と編集					
	第6回	グラフィックスの利用1					
	第7回	グラフィックスの利用2					
	第8回	印刷、基礎まとめと復習					
	第9回	おたより作成(作成の流れ、新規全体レイアウト作成、イラストと画像の挿入、書体、サイズと行間について1)					
	第10回	おたより作成(作成の流れ、新規全体レイアウト作成、イラストと画像の挿入、書体、サイズと行間について2)					
	第11回	おたより作成(画像の加工、ペイントでできる写真の加工とかんたんお絵かき1)					
	第12回	おたより作成(ペイントでできる写真の加工とかんたんお絵かき2)					
	第13回	おたより作成演習					
	第14回	おたより作成演習					
	第15回	おたより作成演習					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	後期		
科目名	情報ネットワーク	授業形態	演習	単位数	2単位		
担当教員	長谷川 直子	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	民間企業のパソコン部門でのインストラクター業務、また、人材派遣会社の研修部門でのパソコン研修指導およびパソコンヘルプデスクを担当。初心者から上級者まで幅広い技術指導を行う。ヘルプデスクでは、派遣社員のパソコン実務に関する質疑応答を電話によりリアルタイムで行う。						
授業のねらい (到達目標)	幼稚園や保育園などの教育機関において、名簿の作成ほか表作成からデータベースの処理が必要となるデータを作成する際に、Excelの知識と技術が必要となる。本教科では、Excelを基礎から学習し活用できる能力を身につける。						
授業概要	Excel2016を用いて表の作成、データベース機能、種々の関数を用いた計算、各種グラフの作成など、基礎知識と活用方法を習得し、技術向上を図る。MOS Excel2016 検定合格を目指す。						
テキスト	Excel2016セミナーテキスト基礎・Excel2016対策テキスト&問題集						
授業計画	第1回	本演習のガイダンス、ネットワーク接続、プリンタ設定 Excelの基本操作					
	第2回	表の作成					
	第3回	四則演算と関数1					
	第4回	四則演算と関数2					
	第5回	表の編集1					
	第6回	表の編集2					
	第7回	基礎まとめと復習					
	第8回	ワークシートやブックの作成と管理1					
	第9回	ワークシートやブックの作成と管理2					
	第10回	ワークシートやブックの作成と管理3					
	第11回	セルやセル範囲のデータ管理1					
	第12回	セルやセル範囲のデータ管理2					
	第13回	数式や関数を使用した演算の実行1					
	第14回	数式や関数を使用した演算の実行2					
	第15回	数式や関数を使用した演算の実行3					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	後期		
科目名	情報ネットワーク	授業形態	演習	単位数	2単位		
担当教員	長谷川 直子	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	民間企業のパソコン部門でのインストラクター業務、また、人材派遣会社の研修部門でのパソコン研修指導およびパソコンヘルプデスクを担当。初心者から上級者まで幅広い実践的な技術指導を行う。ヘルプデスクでは、派遣社員のパソコン実務に関する質疑応答を電話によりリアルタイムで行う。						
授業のねらい (到達目標)	幼稚園や保育園などの教育機関において、名簿の作成ほか表作成からデータベースの処理が必要となるデータを作成する際に、Excelの知識と技術が必要となる。本教科では、Excelを基礎から学習し活用できる能力を身につける。						
授業概要	Excel2016を用いて表の作成、データベース機能、種々の関数を用いた計算、各種グラフの作成など、基礎知識と活用方法を習得し、技術向上を図る。MOS Excel2016 検定合格を目指す。						
テキスト	Excel2016セミナーテキスト基礎・Excel2016対策テキスト&問題集						
授業計画	第16回	グラフやオブジェクトの作成1					
	第17回	グラフやオブジェクトの作成2					
	第18回	模擬1(演習)					
	第19回	模擬1(演習)					
	第20回	模擬1(テスト)					
	第21回	模擬2(演習)					
	第22回	模擬2(テスト)					
	第23回	模擬3(演習)					
	第24回	模擬3(テスト)					
	第25回	模擬4(演習)					
	第26回	模擬4(テスト)					
	第27回	模擬5(演習)					
	第28回	模擬5(テスト)					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度			50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	後期		
科目名	教育実習事後指導	授業形態	演習	単位数	1単位		
担当教員	高木 亜紀	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	幼稚園教諭として多くの幼児や保護者と関わった経験、学童保育指導員として小学生の生活や学習に関わった経験、子育てに関する活動(育児サークル主宰、企業による子どもを対象とした職業体験学習など)をもとに授業を行う。						
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学で学修した知識、技術と一般的な教養を基礎として、実際の教育現場で実習する。 ・経験豊かな指導教員の下で、幼児と触れ合い実習する。 ・幼稚園教諭となる為の基本的な能力と態度(個別指導、クラス指導、幼稚園行事等)を養う。 						
授業概要	①幼稚園教育実習の反省や評価を基に、これまで修得した専門知識を振り返る。②幼児の生活や発達 の理解、幼児の発達を促す指導の在り方(環境構成や教師の援助)についての学修を演習を通して深め ていく。③保育者に求められる専門的な知識が定着できるように学びを深める。④幼稚園教育をめぐる 諸問題及び解決の為の取り組み等について知見を広げる為、事例問題についてグループで話し合い、 専門性の向上を図る。						
テキスト	・教育実習事前事後指導・保育実習学・保育者の常識67・実習マニュアル・幼稚園教育要領解 説・幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説・幼稚園・保育士のための実習ガイドブック						
授業計画	第1回	幼稚園教育実習全体の振り返り					
	第2回	部分実習指導案の作成にかかわる自身に課題の明確化。幼児の実態や指導のねらいについ て、理解を深める。					
	第3回	部分実習指導案の作成にかかわる自身に課題の明確化。幼児の実態や指導のねらいについ て、理解を深める。					
	第4回	一日実習の保育者(実習生)の役割や留意点について 部分実習指導案と一日実習指導案の違いと作成上の留意点について					
	第5回	一日実習の保育者(実習生)の役割や留意点について 部分実習指導案と一日実習指導案の違いと作成上の留意点について					
	第6回	模擬保育(一日)指導案作成について 対象年齢、幼児の姿、季節や時期、幼稚園の規模などについて					
	第7回	模擬保育(一日)指導案作成について 対象年齢、幼児の姿、季節や時期、幼稚園の規模などについて					
	第8回	教材研究(素材や材料の準備、実技)					
	第9回	教材研究(素材や材料の準備、実技)					
	第10回	実技の感想、課題をまとめる。(子どもとの関係、保育者との関係、保育の展開の仕方) 実習日誌や指導案の書き方について					
	第11回	実技の感想、課題をまとめる。(子どもとの関係、保育者との関係、保育の展開の仕方) 実習日誌や指導案の書き方について					
	第12回	評価「省察」方法について					
	第13回	評価「省察」方法について					
	第14回	保育者としての専門性を向より上させために、今後力を入れて取り組みたいこと					
	第15回	保育者としての専門性を向より上させために、今後力を入れて取り組みたいこと					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施	授業時数の2/3以上の出席	総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度			50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	前期		
科目名	環境論	授業形態	演習	単位数	1単位		
担当教員	板垣 裕	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	幼児教育施設での勤務経験を活かし、実践的な授業を行う。						
授業のねらい (到達目標)	1. 領域「環境」のねらいと内容を理解する。 2. 子どもを取り巻く様々な環境を理解し、関心を持つ。 3. 「環境を通して行う教育」を理解し、意図ある環境構成の実践を行う。						
授業概要	現在の子どもを取り巻く環境の変化について学びながら、保育に必要な基礎専門知識を得る。 子どもの発育・発達における環境とのかかわりの重要性を学びながら、保育の環境や環境構成のあり方について理解し、校外学習を通して環境構成の実践を行う。						
テキスト	新保育ライブラリ 保育の内容・方法を知る 環境						
授業計画	第1回	環境とは何か？ 環境の定義 子どもを取り巻く環境の変化を知る					
	第2回	身近な環境について考える①少子化					
	第3回	身近な環境について考える②メディア					
	第4回	領域「環境」の理解 環境を通して行う保育 教師の願いを込める					
	第5回	環境の構成 校外学習計画①					
	第6回	校外学習①地域探検					
	第7回	環境の構成 校外学習計画②					
	第8回	環境の構成 校外学習計画②					
	第9回	環境の構成 校外学習計画②					
	第10回	校外学習②					
	第11回	校外学習②					
	第12回	校外学習②					
	第13回	校外学習②					
	第14回	まとめ・振り返り①					
	第15回	まとめ・振り返り②					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価：課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	前期		
科目名	特別支援教育	授業形態	講義	単位数	1単位		
担当教員	星 恵美子	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	昭和48年障害児施設入職以降、養護学校義務制前後から、障害児の教育支援活動、就労支援施設でのジョブコーチ等の実践の中で、障害を持つ児童・生徒のライフステージを見通した特別支援教育の在り方を現場の職員集団の中で試行してきた。特別支援教育の源流であるインテグレーションが、インクルージョンという広い川に注ぎ込む今、特別支援教育に関わる者が持つべき専門性について、現場経験を基に解説する。						
授業のねらい (到達目標)	1、インクルーシブ教育システムを含めた特別支援教育の制度や理念仕組みが説明できる。2、様々な障害のある幼児の生活上及び認知機能における困難について基礎部分が説明できる。						
授業概要	特別な教育的ニーズをもつ子どもたちの支援にあたり、その特性の理解はいうまでもなく、その支援のために必要な社会資源や関係機関の知識、個別の教育支援計画の作成方法と利用方法、教育課程の学びと生活の場の在り方についても理解を深められるよう、特別支援教育に関わる幅広いないようを学習する。						
テキスト	「特別支援教育」(配本テキスト)						
授業計画	第1回	特別な教育的ニーズをもつ子どもの教育課程					
	第2回	発達障害や軽度知的障害をもつ子どもの特性					
	第3回	視覚障害を持つ子どもへの支援					
	第4回	聴覚障害を持つ子どもへの支援					
	第5回	言語障害を持つ子どもへの支援					
	第6回	知的障害を持つ子どもへの支援					
	第7回	発達障害や軽度知的障害をもつ子どもの特性を持つ子どもへの支援					
	第8回	肢体不自由を持つ子どもへの支援					
	第9回	病弱・虚弱を持つ子どもへの支援					
	第10回	子どものニーズに合わせた支援					
	第11回	教育チームによる組織的支援					
	第12回	特別支援教育コーディネーター					
	第13回	保護者や家庭との連携					
	第14回	特別な教育的ニーズ					
	第15回	効果測定					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	2学年	開講期	前期	
科目名	こどもの理解と相談支援	授業形態	講義	単位数	2単位	
担当教員	阿久津 洋巳	実務経験の有無	×			
実務経験教員の経歴						
授業のねらい (到達目標)	幼児教育の課題と家庭との連携の在り方、心理アセスメントの活用について理解できるようになる。カウンセリングの基本と心理アセスメントの活用、保・幼・小及び家庭との連携が理解できるようになる。					
授業概要	相談支援の究極的な目的は、こどもの人間形成、人格形成にある。幼児、児童、生徒を対象とした現場における相談支援に重点を置き、発達と成長の基礎理論、生活指導、しつけ、学習適応などについて学ぶ。また、カウンセリングの基本的態度や技法について学び、様々な心理アセスメントの内容・活用について理解を深める。					
テキスト	こどもの理解と相談支援(豊岡短期大学)					
授業計画	第1回	こどもの実態に応じた発達や学びの把握				
	第2回	相談支援の基本 相談支援の基本・カウンセリングの基本とカウンセリングの基本的な方法				
	第3回	こどもを理解する視点①				
	第4回	こどもを理解する視点②				
	第5回	こどもを理解する方法①				
	第6回	こどもを理解する方法②				
	第7回	こどもを理解する方法③				
	第8回	こどもの自己理解を進める技法				
	第9回	幼児・こども理解とカウンセリング・マインド				
	第10回	幼稚園・保育園における園児への心理的援助及びその保護者との相談支援				
	第11回	小学校における児童への心理的援助及びその保護者との相談支援				
	第12回	相談支援の実際①				
	第13回	相談支援の実際②				
	第14回	相談支援と家庭・学校・地域との連携と相談支援				
	第15回	相談支援の課題と対応				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度 上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	総合評価算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%